

# 保存整備のあらまし

震災から85年、出現した橋脚は大正末期と昭和後期の人工池で保存されてきました。しかしながら、長い年月の経過とともに部分的に傷みが進んでいることが認められました。そのため、茅ヶ崎市では、平成13(2001)年から多くの方々のご協力を得ながら、平成の保存整備を実施し、新たな形でご覧いただくこととなりました。

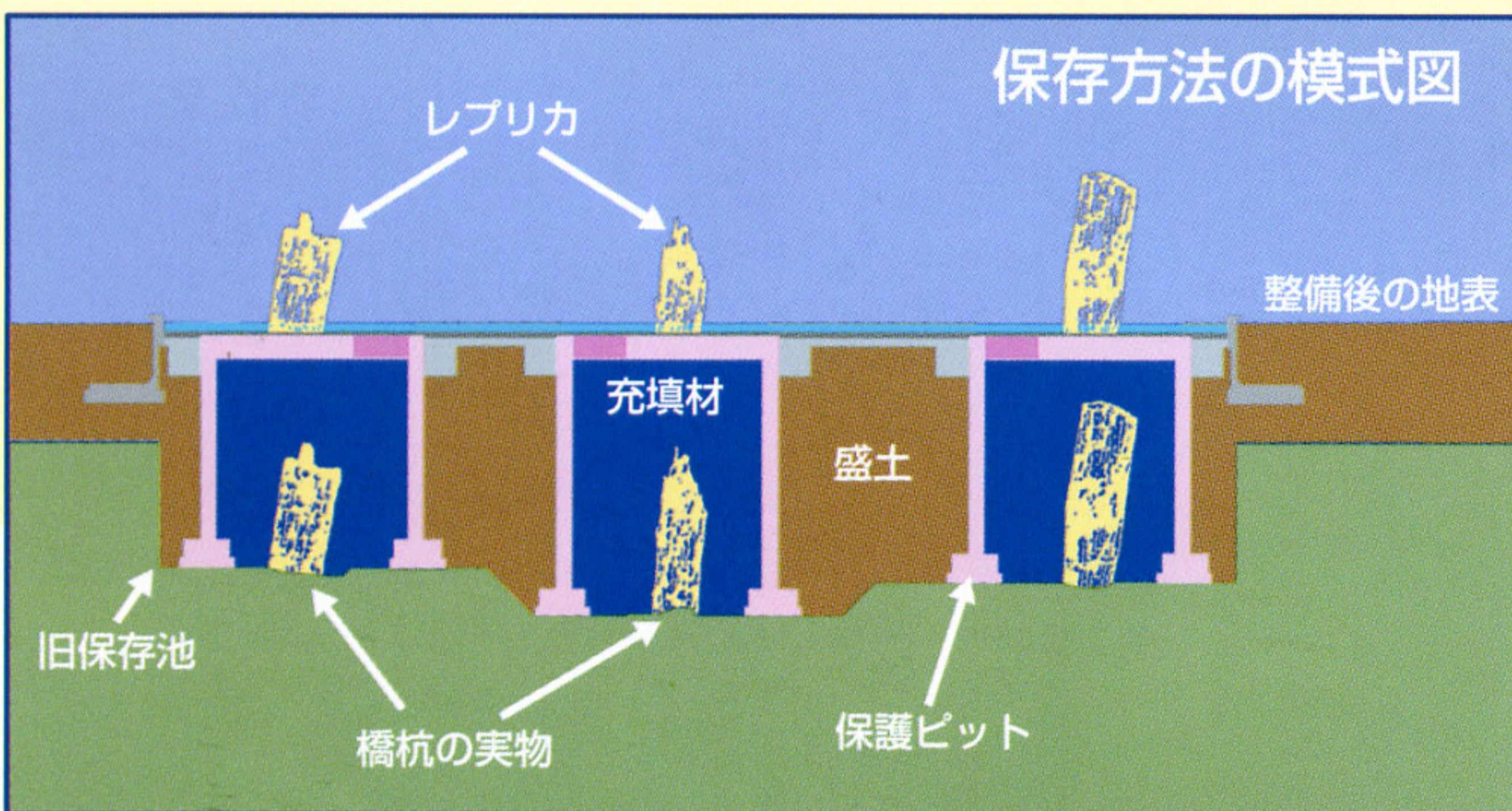
## 基本的な考え方

- 1 国指定史跡であることを重視し、橋脚および橋脚を支持する地盤とも現地から動かさず、かつ破損しない整備を行う。
- 2 橋脚の保存処理は、腐朽の進行を止め現状を保存する方法とし、科学的処理は行わない。したがって、今回の方法は恒久的な保存とならないことから、当面の保存法とし、定期的な観察を行う。
- 3 本史跡は、保存池とともに憩いの場として市民に親しまれており、その景観を大きく変化させないように配慮する。



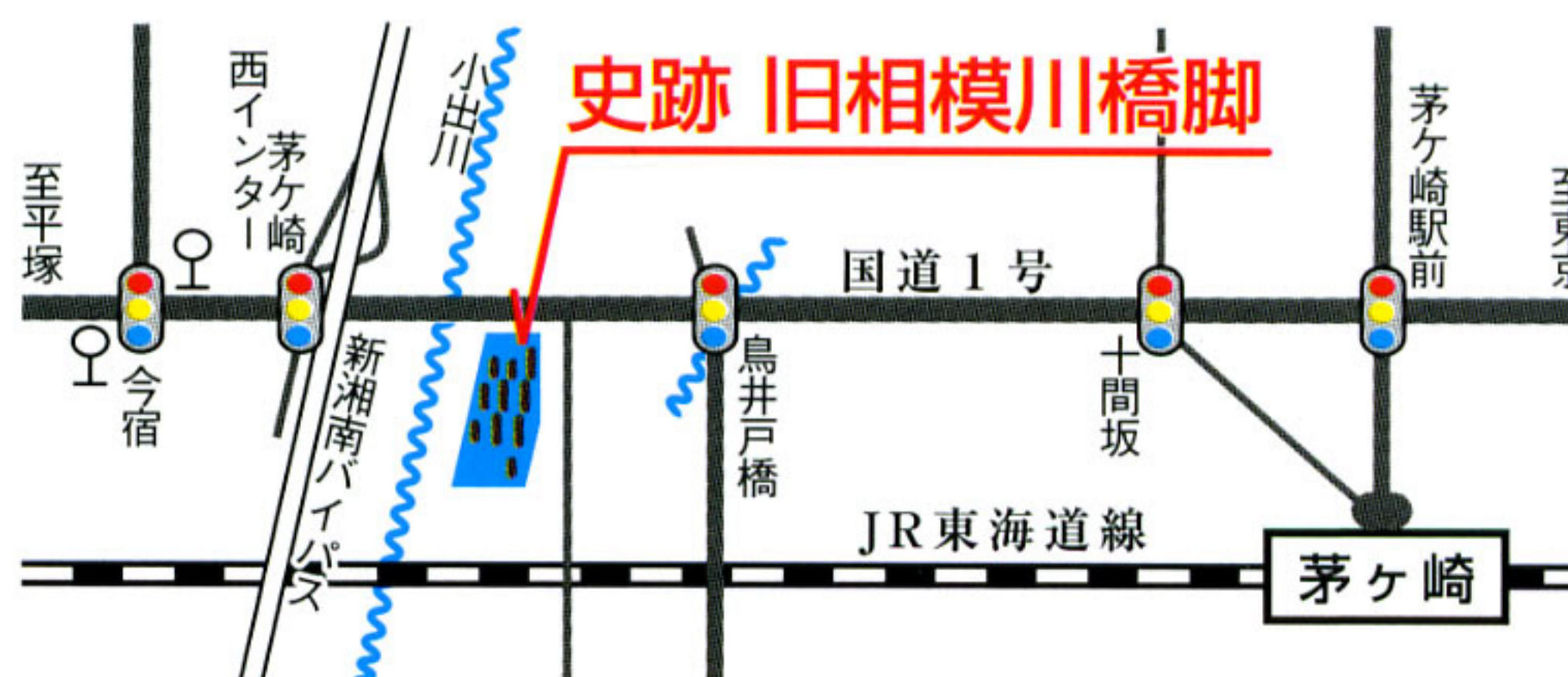
## 保存方法

- 1 傷みがこれ以上進まないように、コンクリート製の筒で囲み、内部に湿潤状態を保つ充填材を満たす。
- 2 整備後は橋脚を見ることができなくなるので、埋め戻した上部に出現時の復元模型を設置し、景観を復元する。



## アクセス

所在地 神奈川県茅ヶ崎市下町屋1-551-2  
JR茅ヶ崎駅北口から平塚駅行バス(3番のりば)  
今宿バス停下車 徒歩5分



国指定史跡 旧相模川橋脚 解説シート1 概要編

発行日 平成20年3月28日

編集・発行 茅ヶ崎市教育委員会生涯学習課文化財保護担当

印刷 神奈川印刷株式会社

茅ヶ崎市茅ヶ崎1-1-1 Tel: 0467-82-1111内線3343

平塚市明石町3-6 Tel: 0463-22-3344(代)